

BSEN-5-20765

f12

DELPHION

Select CR

Stop Tracking

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

Log Out Work Files Saved Searches

My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

Help

The Delphion Integrated View

Get Now: ☒ PDF | More choices...Tools: Annotate | Add to Work File: Create new Work File ☐ AddView: INPADOC | Jump to: Top ☐ Go to: Derwent☒ Email this to a friend

Title: JP2002177197A2: DISTAL END OF ENDOSCOPE

Derwent Title: Tip for endoscope, has water supply hole, which conducts water sprayed to surface of observation port, that is formed in heat transfer body
[\[Derwent Record\]](#)

Country: JP Japan

Kind: A2 Document Laid open to Public inspection i

Inventor: OBATA YOSHIHIRO;
SANO HIROSHI;Assignee: ASAHI OPTICAL CO LTD
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

Published / Filed: 2002-06-25 / 2000-12-14

Application Number: JP20000000379908

IPC Code: A61B 1/00; G02B 23/24;

Priority Number: 2000-12-14 JP20000000379908

Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a distal end of an endoscope which efficiently cools a light emitting diode built in the distal end of an insertion portion as an illumination light source without making the insertion portion greater in size.

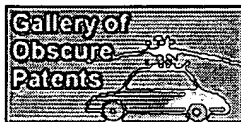
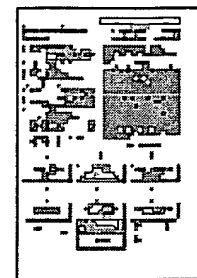
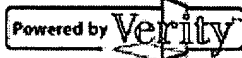
SOLUTION: A highly heat transferable member 17 having good thermal conductivity is arranged to enclose the light emitting diode 20 and a fluid path 18 in which a liquid blown against the surface of an observation window 11 disposed at the distal end of the insertion portion 1 passes is formed in the highly heat transferable member 17.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

Family: None

Other Abstract: DERABS G2002-533465

Info:

[Nominate this for the Gallery...](#)

View Image

1 page

THOMSON

Copyright © 1997-2005 The Thomson Corporation

[Subscriptions](#) | [Web Seminars](#) | [Privacy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact Us](#) | [Help](#)

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-177197
(P2002-177197A)

(43)公開日 平成14年6月25日(2002.6.25)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーム(参考)
A 6 1 B 1/00	3 0 0	A 6 1 B 1/00	3 0 0 Y 2 H 0 4 0
G 0 2 B 23/24		G 0 2 B 23/24	A 4 C 0 6 1

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-379908(P2000-379908)

(22)出願日 平成12年12月14日(2000.12.14)

(71)出願人 000000527

旭光学工業株式会社

東京都板橋区前野町2丁目36番9号

(72)発明者 小沼 佳寛

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社内

(72)発明者 佐野 浩

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社内

(74)代理人 100091317

弁理士 三井 和彦

Fターム(参考) 2H040 CA03 CA05 DA12 DA17

4C061 AA00 BB00 CC00 DD00 FF35

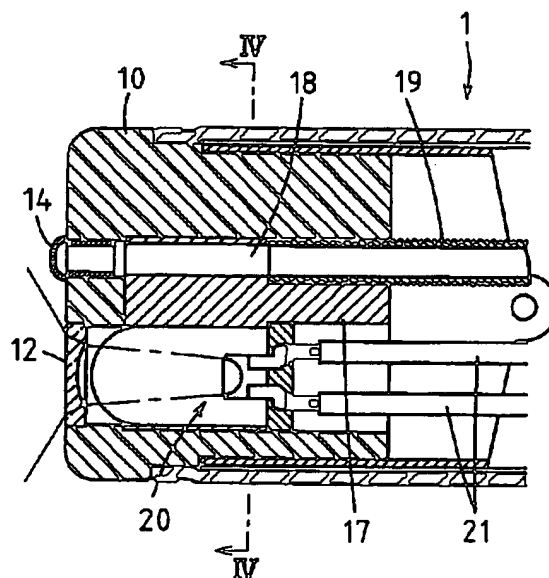
FF40 JJ11

(54)【発明の名称】 内視鏡の先端部

(57)【要約】

【課題】照明光源として挿入部の先端に内蔵された発光ダイオードを、内視鏡の挿入部を太くすることなく効果的に冷却することができる内視鏡の先端部を提供すること。

【解決手段】発光ダイオード20を囲んで熱伝導性のよい高伝熱部材17を配置すると共に、挿入部1の先端に設けられた観察窓11の表面に向かって吹き付けられる流体が通過する流体通過路18を、高伝熱部材17に形成した。



【特許請求の範囲】

【請求項１】挿入部の先端に設けられた照明窓内に発光ダイオードを配置して、上記発光ダイオードから放射される光により被写体を照明するようにした内視鏡の先端部において、

上記発光ダイオードを囲んで熱伝導性のよい高伝熱部材を配置すると共に、上記挿入部の先端に設けられた観察窓の表面に向かって吹き付けられる流体が通過する流体通過路を、上記高伝熱部材に形成したことを特徴とする内視鏡の先端部。

【請求項２】上記高伝熱部材が上記挿入部の先端部分の外表面に露出しないように、上記挿入部の先端部分の外表面が熱伝導性の悪い部材によって形成されている請求項１記載の内視鏡の先端部。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】この発明は、照明光源として発光ダイオードが挿入部の先端に内蔵された内視鏡の先端部に関する。

【０００２】

【従来の技術】内視鏡においては、挿入部外に配置された光源ランプから放射された光を、挿入部に挿通されたライトガイドファイババンドルによって伝達する構成が一般的であるが、照明光源として挿入部の先端に発光ダイオードを内蔵させて、装置の簡素化を図ったものがある。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】しかし、発光ダイオードが内視鏡の挿入部内という狭くて放熱性のよくない環境下で連続点灯されると、発光ダイオードの温度が上昇し、その結果として、発光ダイオードの発光効率が低下して暗くなったり寿命が著しく短くなってしまう問題が生じる。

【０００４】そこで、例えば挿入部外から冷却用の空気又は水等を循環させて発光ダイオードを冷却することが考えられるが、発光ダイオードを冷却するための配管を挿入部に挿通配置すると、挿入部の外径サイズが大きくなって、内視鏡検査を受ける人に与える苦痛を増大させてしまう。

【０００５】そこで本発明は、照明光源として挿入部の先端に内蔵された発光ダイオードを、内視鏡の挿入部を太くすることなく効果的に冷却することができる内視鏡の先端部を提供することを目的とする。

【０００６】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明の内視鏡の先端部は、挿入部の先端に設けられた照明窓内に発光ダイオードを配置して、発光ダイオードから放射される光により被写体を照明するようにした内視鏡の先端部において、発光ダイオードを囲んで熱伝導性のよい高伝熱部材を配置すると共に、挿入部の先

端に設けられた観察窓の表面に向かって吹き付けられる流体が通過する流体通過路を、高伝熱部材に形成したものである。

【０００７】なお、高伝熱部材が挿入部の先端部分の外表面に露出しないように、挿入部の先端部分の外表面を熱伝導性の悪い部材によって形成すれば、高伝熱部材の温度上昇に起因する体内粘膜面の火傷等が発生しない。

【０００８】

【発明の実施の形態】図面を参照して本発明の実施例を説明する。図２は内視鏡の全体構成を示しており、可撓管状の挿入部１の先端に対物光学系等が内蔵されていて、観察対象となる被写体１００に対して照明光が照射される。

【０００９】挿入部１の基端に連結された操作部３には、挿入部１の先端に内蔵された後述する照明用の発光ダイオードに駆動電力を供給するための電池パック６が、着脱自在に取り付けられている。

【００１０】４及び５は、送気送水及び吸引の各操作を行うための操作弁である。また、７及び８は、外部に設けられた吸引装置と送気送水装置であり、各々に接続されたチューブが操作部３に対して着脱自在に接続されている。

【００１１】図３は挿入部１の先端面を示しており、電気絶縁性であって熱伝導性の悪いプラスチック材からなる先端部本体１０の端面に、観察窓１１、照明窓１２、送気ノズル１３、送水ノズル１４及び処置具突出口１５が配置されている。

【００１２】観察窓１１の内部には対物光学系（図示せず）が配置されており、対物光学系により結像された被写体１００の像が、イメージガイドファイババンドル等によって伝送されるようになっている。

【００１３】送水ノズル１４と送気ノズル１３は、観察窓１１の表面に開口を向けて先端部本体１０の端面から突設されており、観察窓１１の表面に向けて水と空気を噴出させて観察窓１１の表面の汚れを洗浄することができる。

【００１４】図１は、送水ノズル１４と照明窓１２の各々の中心を通る断面における挿入部１の先端部分の側面断面図であり、照明窓１２に装着された凹レンズの内側に白色光を発する発光ダイオード２０が配置され、その後方の挿入部１内に電線２１が引き通されている。

【００１５】発光ダイオード２０は、先端部本体１０に直接取り付けられているのではなく、Ⅳ－Ⅳ断面を図示する図４に示されるように、例えば銅、アルミニウム、又はそれらの合金材等のような熱伝導性のよい金属材料からなる高伝熱部材１７に、発光部の外周面が囲まれる状態に支持されている。図４において、２３はイメージガイドファイババンドル、２４は送気通路孔、２５は処置具挿通チャンネルである。

【００１６】高伝熱部材１７は、先端部本体１０に形成

された孔にピッタリと嵌め込まれて固着されており、挿入部1の先端部分の外表面に高伝熱部材17が露出しないよう、高伝熱部材17の外表面側に位置する部分は全て先端部本体10によって形成されている。

【0017】そして、送気送水装置8から送られてくる水が通る送水チューブ19の先端が高伝熱部材17に後方から接続固着されていて、この送水チューブ19と送水ノズル14との間を接続する送水通路孔18（流体通過路）が高伝熱部材17に穿設されている。

【0018】このように構成された実施例の内視鏡の先端部においては、発光ダイオード20から放射される照明光が照明窓12を通して被写体100に照射される。そして、観察窓11の表面を洗浄する必要に応じて、操作部3に配置された操作弁4で送水操作を行うことにより、外部の送気送水装置8から送られてきた水が送水通路孔18を通して送水ノズル14から観察窓11の表面に向けて噴出される。

【0019】したがって、点灯状態にある発光ダイオード20から発生する熱が、高伝熱部材17を通して送水通路孔18内を通過する水に伝導されて外部へ排出され、その結果、発光ダイオード20が冷却される。

【0020】また、高伝熱部材17が挿入部1の先端部分の外表面に露出しておらず、熱伝導性の悪い材料からなる先端部本体10が露出しているので、高伝熱部材17の温度上昇に起因する体内粘膜面の火傷等が発生しない。

【0021】なお、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、例えば送気ノズル13に通じる送気通路孔を高伝熱部材17に穿設して、発光ダイオード20を空冷によって冷却してもよい。また、図5に示される第2の実施例のように、前後に二分割された先端部本体10、10'の間に高伝熱部材17をサンドイッチ状に配置してもよい。

【0022】

【発明の効果】本発明によれば、発光ダイオードを囲んで熱伝導性のよい高伝熱部材を配置すると共に、挿入部の先端に設けられた観察窓の表面に向かって吹き付けられる流体が通過する流体通過路を高伝熱部材に形成したことにより、発光ダイオードから発生する熱が高伝熱部材を通して流体通過路内を通過する流体に伝導されて外部へ排出され、その結果、照明光源として挿入部先端に内蔵された発光ダイオードが冷却され、発光効率と寿命の低下を抑制することができる。

【0023】そして、観察窓の表面に向かって流体を吹き付けるための構成は一般の内視鏡には必ず必要なものであるから、内視鏡の挿入部を太くすることなく発光ダイオードの冷却を効果的に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例の内視鏡の先端部の側面断面図である。

【図2】本発明の第1の実施例の内視鏡装置の全体構成を示す外観図である。

【図3】本発明の第1の実施例の内視鏡の先端部の正面図である。

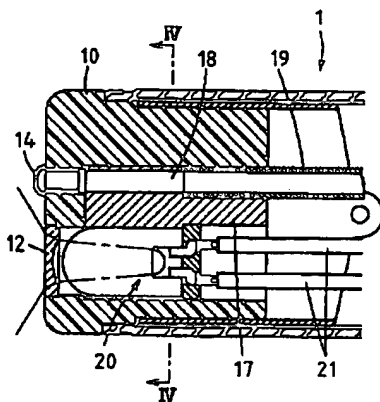
【図4】本発明の第1の実施例の内視鏡の先端部の図1におけるIV-IV断面図である。

【図5】本発明の第2の実施例の内視鏡の先端部の側面断面図である。

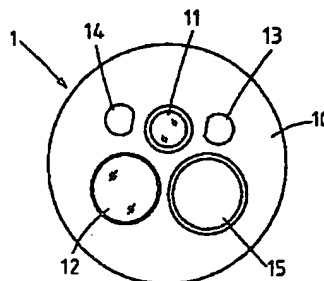
【符号の説明】

- 1 挿入部
- 10 先端部本体
- 11 観察窓
- 12 照明窓
- 14 送水ノズル
- 17 高伝熱部材
- 18 送水通路孔（流体通過路）
- 20 発光ダイオード

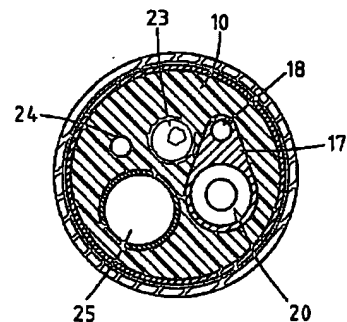
【図1】



【図3】

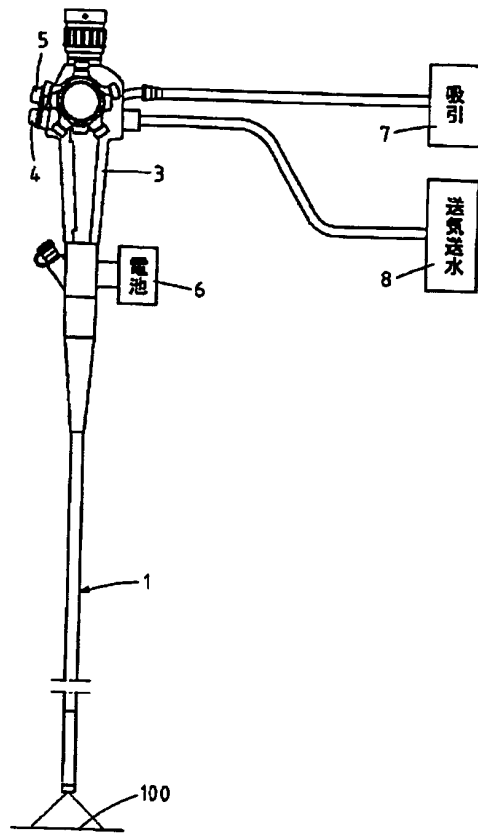


【図4】



BEST AVAILABLE COPY

【圖2】



【圖5】

